

互助会報

令和7年7月18日

(No.257)

岩手県教職員互助会
広報紙



表紙写真 いい湯だな(温泉デビュー) 【夏の部 優秀賞】 安保 淳 (花巻清風支援学校)

《撮影者のひとこと》

生まれて初めてのペット専用温泉に行きました。
びびりのイチ(7歳♂)は逃げ回り「もう、上がりたい。」
何でも挑戦のチョコ(2歳♀)は犬かき大会「まだまだ、遊び
たい。」
真ん中のご主人様は、足湯でのんびりでした。

《講評》

ペットの温泉でワンちゃんと共に温泉浴、
ちょっとはにかみながらピース。
ワンちゃんは舌をハーハー、「熱いねー」と
でも話しかけてくる様子。
暑い夏の情景が浮かぶ。

CONTENTS

令和6年度 事業報告	2
理事会・評議員会開催状況	3
事務局から	4
◎図書カードを寄贈します(公益文化事業)	
◎心身リフレッシュ支援助成品をお届けしました	
◎小学校入学祝金の請求はお済みですか	
◎全教互指定旅館の指定解除について	

今、学校から	5
◎奥州市立前沢中学校 校長 南幅 正勝	
わたしの見聞録	6
◎北上市立飯豊中学校 副校長 門屋 なつみ	
みんなの投稿広場	6
◎夏の部 佳作入賞作品	
気になる健康アドバイス!	7
◎沈黙の病、慢性腎臓病	
岩手の文学風土誌 名作紀行	8
◎啄木・賢治の[米]:「玄米」の賢治と「米」の無い啄木	

令和6年度 事業報告

会員数・被扶養者数

会員数の状況

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減
正 会 員	12,179 人	12,162 人	17 人
特 別 会 員	713 人	702 人	11 人
任意継続会員	235 人	277 人	△ 42 人
合 計	13,127 人	13,141 人	△ 14 人

会員被扶養者の状況

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減
正 会 員	8,152 人	8,547 人	△ 395 人
特 別 会 員	478 人	499 人	△ 21 人
任意継続会員	91 人	122 人	△ 31 人
合 計	8,721 人	9,168 人	△ 447 人

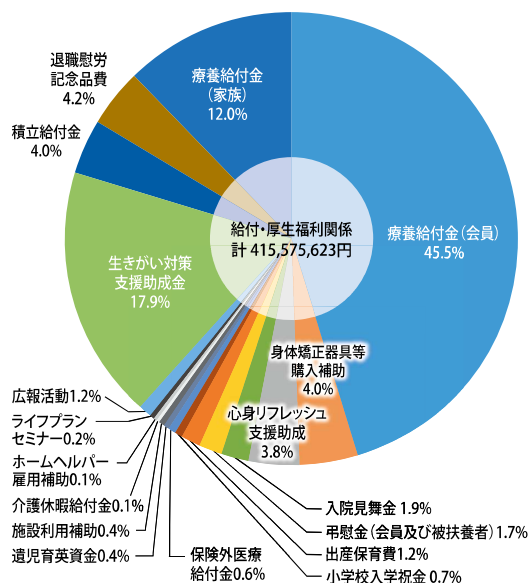
会費収入(掛金)の状況

種 別	令和6年度	令和5年度	増 減	掛金率 (給料+教職調整額+扶養手当)
正 会 員	406,380,988 円	401,299,551 円	5,081,437 円	0.75%
特 別 会 員	23,254,257 円	22,847,561 円	406,696 円	0.75%
任意継続会員	7,291,103 円	8,212,741 円	△ 921,638 円	0.65%
合 計	436,926,348 円	432,359,853 円	4,566,495 円	

主な給付事業の概要

事業名	給付金合計(円)	事業内訳	給付額(円)
短期給付事業	62,703,180	療養給付金(家族)	50,003,180
		出産保育費	5,100,000
		災害見舞金	400,000
		弔慰金(会員及び被扶養者)	7,200,000
厚生福利事業	261,580,443	療養給付金(会員)	189,196,360
		入院見舞金	7,910,000
		介護休暇給付金	151,536
		小学校入学祝金	2,870,000
		施設利用補助	1,487,500
		退職慰労記念品費	17,410,000
		遺児育英資金	1,500,000
		ライフプランセミナー	897,998
		保険外医療給付金	2,602,260
		身体矯正器具等購入(修理)補助	16,623,609
		ホームヘルパー雇用補助	118,000
		心身リフレッシュ支援助成	15,827,600
		広報活動	4,985,580
		生きがい対策支援助成金	74,477,000
長期給付事業	74,477,000	積立給付金	16,815,000
特別弔慰積立事業	16,815,000		
合 計	415,575,623		415,575,623

給付・厚生福利関係事業の割合



事業名	支出額合計(円)	事業内訳	支出額(円)
貸付事業	253,194,270	貸付事業支出	251,200,000
		貸付保険金	1,994,270

公益文化事業の実施状況

○岩手教育芸術祭

教育関係4団体主催で、「岩手教育芸術祭」を実施しました。

- ・美術展 (11月9日～12日)
- ・合唱「コーラスネットワークいわてコンサート」(11月2日)
- ・文化講演会 講師: 辺 真一氏 (12月7日)

○いしがき MUSIC FESTIVAL 2024

9月24日、盛岡城跡公園等を会場として開催された「いしがきMUSIC FESTIVAL 2024」に教育関係4団体で協賛しました。

○学校及び児童生徒活動支援

県内の小・中・高等学校及び特別支援学校に対し、図書カードを寄贈しました。

○公益財団法人に対する寄附

公益財団法人が実施する東日本大震災特別奨学金事業、教育・学術及び文化振興事業、生涯スポーツ振興事業に対し、寄附を行いました。



理事会・評議員会開催状況

理事会、評議員会では、以下の議案について審議され、いずれも原案どおり承認されました。
(互助会報No.256紙面掲載以降の状況)

第2回理事会

令和7年5月23日(金) 開催

- 議案第1号 令和6年度事業報告及び収支決算(監査報告)について
- 議案第2号 公益目的支出計画実施報告書等(監査報告)の提出について
- 議案第3号 令和7年度第1回評議員会の開催について

第1回評議員会

令和7年6月12日(木) 開催

- 報告事項 公益目的支出計画実施報告書等の提出について
- 議案第1号 令和6年度事業報告及び収支決算(監査報告)の承認について
- 議案第2号 一般財団法人岩手県教職員互助会評議員の選任について
- 議案第3号 一般財団法人岩手県教職員互助会理事の選任について
- 議案第4号 一般財団法人岩手県教職員互助会監事の選任について

第3回理事会

令和7年6月12日(木) 開催

- 議案第1号 一般財団法人岩手県教職員互助会会長(代表理事)の選定について
- 議案第2号 一般財団法人岩手県教職員互助会副会長の選定について
- 議案第3号 一般財団法人岩手県教職員互助会常務理事の選定について

評議員・役員名簿

今回選任された評議員・理事・監事の方々は次のとおりです。

評議員及び監事の任期は令和11年の定時評議員会の終結の時まで、理事の任期は令和9年の定時評議員会の終結の時までとなっています。

(敬称略)



評議員

- | | |
|-------|------------------------------|
| 村田 浩隆 | 岩手県小学校長会(仙北小学校) |
| 佐々木秀毅 | 岩手県中学校長会(仙北中学校) |
| 田代 由希 | 岩手県小中学校副校長会
(緑が丘小学校) |
| 小田美香子 | 岩手県教職員組合 |
| 佐々木香奈 | 岩手県教職員組合 |
| 福士 晴彦 | 岩手県教職員組合 |
| 菊池 省治 | 岩手県高等学校長協会
(盛岡第二高等学校) |
| 柳田 陽一 | 岩手県高等学校教職員組合 |
| 高橋 輝久 | 岩手県高等学校教職員組合 |
| 千葉 哲也 | 岩手県立学校事務職員組合
(釜石商工高等学校) |
| 千葉 博幸 | 岩手県教育委員会事務局職員組合
(学校教育室) |
| 川村 元 | 一般財団法人岩手教育会館 |
| 沼田 聡 | 岩手県学校生活協同組合 |
| 羽柴 典光 | 岩手県教育委員会事務局 |
| 横沢 知幸 | 岩手県公立高等学校事務職員協会
(大船渡高等学校) |

理 事

- | | |
|-------|----------------------------|
| 松村 達 | (会長・代表理事) 岩手県教育委員会事務局 |
| 佐藤 工 | (副会長) 岩手県教職員組合 |
| 菊地 亮弘 | 岩手県教育委員会事務局 |
| 川村 憲弘 | 岩手県小学校長会(津志田小学校) |
| 廣澤 正紀 | 岩手県中学校長会(大宮中学校) |
| 高橋 克典 | 岩手県教職員組合 |
| 三浦 立 | 岩手県高等学校長協会(一関第一高等学校) |
| 村上智加子 | 岩手県高等学校教職員組合 |
| 水野 鉄也 | 岩手県立学校事務職員組合
(盛岡商業高等学校) |
| 菅原ゆかり | (常務理事) 一般財団法人岩手県教職員互助会 |

監 事

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 根本地 淳 | 岩手県小中学校副校長会
(津志田小学校) |
| 長谷部友春 | 岩手県教職員組合 |
| 川口 史朗 | 岩手県高等学校副校長協議会
(盛岡農業高等学校) |
| 藤澤 大 | 岩手県高等学校教職員組合 |
| 佐々木孝幸 | 岩手県公立高等学校事務職員協会
(花巻清風支援学校) |

事務局から

図書カードを寄贈します

公益文化事業の一環として、県内の小・中・高等学校及び特別支援学校を対象に、図書カードを寄贈します。

- 1 対象校 28校(毎年度)
- 2 選定方法 小、中、高等学校及び特別支援学校ごとに生徒数の少ない学校から順次寄贈します。
- 3 支援額 5万円
- 4 手続き 本年度の対象校には、7月頃に当会から図書カードの受け入れ調査を行いますので、回答をお願いします。
なお、寄贈を受けた対象校からは、令和8年1月末までに図書カードの使用報告書を提出していただきます。



心身リフレッシュ支援助成品をお届けしました

会員継続年数が15年、25年に達した会員の皆さまに、希望された助成品(旅行券、図書カード)をお届けしました。

心身のリフレッシュにご活用ください。

なお、旅行券、図書カードともに使用期限があります。確認のうえ、期限内に利用するよう留意願います。



小学校入学祝金の請求はお済みですか？

小学校に入学されたお子様(平成30年4月2日から平成31年4月1日までに生まれた子)をお持ちの会員に、10,000円が給付されます。

まだ請求されていない場合、互助会様式第106号により請求してください。

また、昨年度請求し忘れた方は、請求書右余白に「請求漏れ」と記載して請求いただくようお願いいたします。



全教互指定旅館の指定解除について

全教互指定旅館のうち、次の旅館が営業を終了したため、指定解除となりましたのでお知らせします。

●ホテルさつき別邸「楓」(渡り温泉)(令和7年6月29日で営業終了)

資金が必要になったときは互助会の貸付を！

生活資金貸付

会員が臨時に資金を必要とするとき

200万円以内



奨学資金貸付

会員又はその子弟が高校・大学等に入学又は修学するため資金を必要とするとき

200万円以内



結婚資金貸付

会員又はその子が結婚するとき

200万円以内



自動車購入資金貸付

会員が使用する自動車を購入するとき

200万円以内



貸付利率 年 0.84%

※年利4.8%のところ、当分の間 特例利率0.84%としています。

他の債務と合わせた毎月の償還額が、給料月額10分の3を超えるときには、貸付することができませんので、計画的なご利用を心掛けてください。

貸付に係る条件や必要書類については、「福祉のしおり」や互助会ホームページ(<http://www.ik-gojoyokai.jp>)をご覧ください。

今、学校から

学校生活のできごと、
子どもたちの活躍などを
先生方からお伝えいただきます。

奥州市立前沢中学校
校長 南幅 正勝

本校は、東は西行の歌に詠まれた東稲山、西は桜の名所お物見山公園、そして北上川の流れる自然に恵まれた、旧城下町を中心にした地域にあり、生徒は文武両道で日々頑張っています。



縦割りの組団で熱い戦い“体育祭”選手宣誓

今年度『失敗を恐れず挑戦を続ける生徒』をスローガンに掲げ、育成する資質能力の具体を「人との繋がり」「適切な判断」「一歩前に入る勇氣」と捉え教育活動を進めています。

「人との繋がり」は、互いの信頼を土台とし共に課題解決する力です。「適切な判断」は、多様な情報・考え方を時と場に応じ取捨選択する力。「一歩前に入る勇氣」とは、そうして最適とされた行動に繋げる力と考えます。これら3つの力は、様々な体験活動等を通じて、相互に関わり合いながら培われるものです。そのため生徒自身が根拠を基に自ら判断し、実行する機会を意図的に設定していきたいと考えます。

1. 自らの手で

学校・学級生活を創る力

生徒の中の主体性、自律心や自治能力を育むため、話し合いの経験を積ませ、決めたことを責任持って実行する経験を大切にしています。そうして培われた自治力や折り合いを付ける力、協働への意欲が、社会性の育成に繋がっていくものと考えます。



地域に元気を届ける“前中太鼓”の演奏(前沢春まつり)

2. 先輩・後輩間や仲間との繋がり

体育祭活動、合唱練習等を縦割りで行っています。仲間との繋がりを意識させ、辛いことも乗り越え成就感、達成感を味わうことで、人間関係形成力と互いの信頼関係を高めていきたい。

3. 地域貢献活動

地域からの要請の他、生徒自身で地域のために何ができるのかを考え、貢献活動を行っています。「自分たちが地域を支え、地域を元気にする」との意識を持つ活動を目指し、地域との関わりの中で自己有用感や社会性を育んでいきたい。

生徒が自分たちで考え、創り出した活動を積み重ねることを重視し、小さくとも成長した姿を共に喜び合いながら、生徒たちの「生きる力」を育んでいきます。

※紙面構成上の都合により、リレー企画「今、学校から」は次号お休みいたします

互助会報表紙写真募集中!

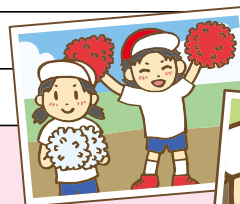
【募集期限: 令和8年1月29日】

応募作品

自作、未発表作品で、過去2年以内に撮影したもの。
作品は、プリントして郵送、又はデータをメールで送信してください。
応募には「応募用紙」を添付してください。

「互助会報表紙写真募集要項」及び「応募用紙」は、互助会ホームページ「お知らせ」の「2025.4.15 互助会報表紙写真を募集しています。」をクリックするとご覧いただけます。

表彰	最優秀賞	1点	10,000円	入選作品の中に特に優れた作品があった場合
	優秀賞	1点	8,000円	入選作品の中に優れた作品があった場合
	入選	春、夏、秋、冬の部に各1点	5,000円	互助会報の表紙に掲載されます
	佳作	数点	3,000円	互助会報で紹介します
	参加賞	選外の応募者全員	1,000円	



※ 賞品は図書カードで贈呈します。

※ 1人で複数受賞した場合、賞品はシーズンごとに上位の1点とします。

応募先はこちら▶

〒020-0022 盛岡市大通一丁目1番16号 岩手教育会館3階
一般財団法人岩手県教職員互助会 事務局
E-mail g6161-ik@ik-gojoyokai.jp

わたしの見聞録

先生方による旅先の思い出や
体験記をお届けします。

2022年、上海日本人学校虹橋校に教頭として赴任した私を待っていたのは、上海市の歴史に名を残した「ロックダウン」生活です。政府の「ゼロコロナ政策」により住居敷地からの外出が禁止され、毎日のPCR検査が義務化されました。陽性者は大型収容所に強制連行です。症状以上に、言葉も通じない不衛生な場所に独り連行されるかもしれないことが恐怖でした。

当然、教職員は誰も学校へ入校できません。春休み中の突然の通達により教科書や教材、ICT機器を持ち出せず、学校のシ

ステムにもアクセスできない状況です。新学級名簿すら手元にないのです。それでも保護者の要望に応え、なんとかオンライン授業を開始しました。携帯電話を使つての授業や、食料・飲料水の備蓄が尽きる不安を抱えながらも、児童には心がけて笑顔の授業を配信していました。6月に封鎖が解除され、やっと出勤することができました。

9月には児童の登校も許可されましたが、PCR検査や自宅隔離措置は続き、保護者対応メールを1日60通以上出していた時期もあります。さらに、12月には政策がこれも突然終了し、その後、教職員の感染が相次いだことで混乱が広がりました。

このような厳しい状況を乗り越える中で、いつも人との繋がりのありがたさを痛感していました。銀行も閉鎖していたため、口座を開設できず、8月末まで給料が支給されなかったのですが、生活、仕事、経済的な面、全てにおいて、職場の仲間や中国人の友人、隣人らが支えてくれ、元気づけてくれ



2024年、校外学習も復活しました

ました。特に国籍を超えた支援を受け、人と人との絆に国境は関係ないことを強く実感しました。上海に派遣していただいたからこそ得た学びの数々をこれからの教育実践に繋げていきたいと思っています。



2022年、PCR検査を事務職員が昇降口で行っています



2023年、児童数1,080名、教職員数100名の虹橋(ホンチャオ)校

PROFILE

プロフィール

北上市立飯豊中学校

副校長

門屋 なつみ

釜石市立釜石中学校
(2020年度～2024年度在籍)

上海日本人学校虹橋校
(2022年度～2024年度派遣)



※紙面構成上の都合により、リレー企画「わたしの見聞録」は次号お休みいたします

みんなの投稿広場

夏の部

佳作入賞作品

高く！越えた！

●花巻市立東和中学校

大坊 明美



扉の向こうは…

●岩手大学教育学部附属特別支援学校

大森 響生



岩手の文学風土誌

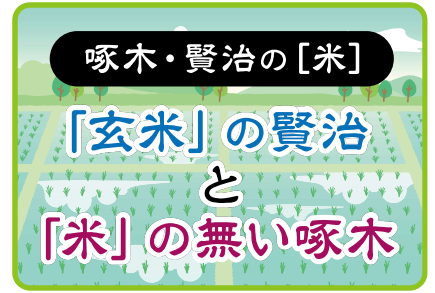
～啄木・賢治からの
贈り物⑪～

望月 善次

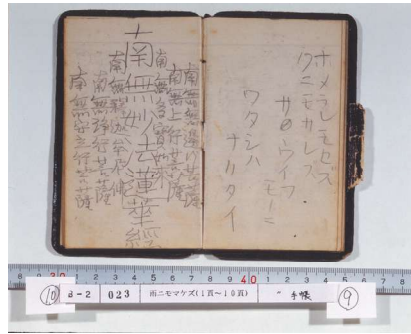
〔岩手大学名誉教授・NPO石川啄木・
宮澤賢治を研究し広める会理事長〕

名作紀行

第七十回



妙行正軌



資料提供 林風舎

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。皆さんのお手元にこの冊子が届くのは、七月末だと聞いていますので、三学期制の所では二学期末の、そうでもない所でも夏休み前の大奮闘の最中ではないかと思っっています。

日本が世界に誇り得る「日本の宝」ともいふべき「初等・中等学校の先生方」の現在がいかに危うい状況にあるかは、この連載でも繰り返し述べているところです。先の国会では、「給特法」改正案が決定されましたが、6年後までに段階的に10%引き上げと言う決定に、「けち臭いなあ」、

「危機の本質・実態が分かっているいなあ。」と嘆息しましたが、皆さんはいかがですか。

私としては、今話題となっている「米」よりも「教育」の問題の方が余程根幹的な問題だと思っているのですが、勿論「米」の問題もゆるがせにできない問題ですね。一國の食料政策の象徴としての「米」の問題は、差し迫った問題としても私達の前にありますね。

そんな思いから「今回は、啄木の米、賢治の米」を取り上げることになりました。（自彊寮通路の敷石の問題は、惜しみながら、もう一回先送りすることに致します。）

「米」と言えば、何と言つても「雨ニモマケズ」（宮澤賢治）中の「一日ニ玄米四合ト味噌ト少シノ野菜ヲ食ベ」あの「玄米四合」でしょう。

ざっと、思いつくとこを挙げてみるだけでも、色々な問題が出て来ます。

一 「雨ニモマケズ」は、賢治がつけた題名ですか。

二 どんなものを書いてあったのですか。

三 賢治は玄米が好きだったのですか。

四 具体的にはどんな玄米だったのですか。

五 一日の量として玄米四合は多くないですか。

六 「一日ニ玄米三合ト」というのも見たことがありますか……。

七 写真などでみると、最後の頁には「南無妙法蓮華經」などの文字がありますが、ざっと挙げたのに、七つも上がっていました。

簡単に解説を加えると次の様になります。

一 ↓ そうではありません。「二」に述べる様なメモですので、「雨ニモマケズ」にも、題名もついていません。あの名前は、題名のない作品は「最初の行を題とする」という賢治研究の風習にならっているだけなのです。

二 ↓ 賢治がつけていた小さな手帳に書いてありました。「宗教的メモ」というのが一番相応しいものでしょう。死後、弟の清六が見つけたのです。縦13cm、横7.5cmほどの本場に小さな手帳です。（写真掲載については、林風舎の宮澤和樹氏から格別の御配慮を頂きました。）書いてある内容からすると、「宗教的メモ」と呼ぶのが相応しいものです。また、其処に書かれていた「妙法蓮華經」の引用は、全て賢治の属していた宗教団体「国柱会（こくちゅうかい）」のハンドブックともいふべき「妙行正軌（みょうぎょうしやうき）」からのものであることも明らかになっています。【小倉豊文「宮澤賢治「雨ニモマケズ」手帳」研究（筑摩書房、一九九六）】「写真掲載については、国柱会から格別の御配慮を頂きました。」

三 ↓ 賢治は玄米を好きではありませんでした。お母さんの親戚から言われてしぶしぶ食べていたのです。止めることが出来た時は「ホッとした」と言っています。

四 ↓ 「七分搗き」の玄米でした。学生時代から玄米を食べて来た私などからすれば「七分搗き」なんて「玄米」ではありませんね。

五 ↓ 実際に食べている体験からすると、「一日一合」でも結構食べがいがありますよ。もっとも、当時の食料事情は現在とは違い、主食の比重が大きかったからその程度は食べたという人もいますが、中学生の頃

は「日の丸ドカベン」であつた私でも「一日玄米四合」は切なく思えますが。

六 ↓ 実は、第二次世界大戦直後の食料事情の悪かつた時に、教科書を「一日ニ玄米三合ト」としたという歴史があるので。実際私なども長い間「一日ニ玄米三合ト」と記憶していましたよ。

七 ↓ 最後に書かれているのは、賢治の信仰していた妙法蓮華經の信者達の本尊である文字曼荼羅（もじまんだら）の簡易版です。元々が「宗教メモ」の手帳ですから、この部分こそが大切なのです。その点から今多く出回っているその部分を省いている「雨ニモマケズ」は、「一番大切な部分を外してしまつたもの」なのですね。賢治が知つたら何と言つてしまうか。

いや、「雨ニモマケズ」に押されて「啄木の米」に割く時間が少なくなつてしまいましたね。

だからという訳ではないのですが、「啄木」には「米」がないのです。『一握の砂』と『悲しき玩具』の全ての作品に「米」という語彙は出てこないのです。御承知かも知れませんが、最晩年の啄木の生活は苦しく「米」も自由に買えなかつたのではないかと思います。

啄木は、明治四十五年四月十三日に亡くなるのですが、その八か月ほど前から、啄木が亡くなった次の日まで、妻節子のつけていた「金銭出納簿」があるのですが、それによると亡くなる年の三月から四月にかけて「米」の出費があるのは、三月十二日「餅米」22銭、四月二日「米代」5円の二日のみです。【岩城之徳「啄木晩年の金銭出納簿」死への八か月の記録」、「啄木評伝」（學燈社、一九七六）】